

「誠実・実行・こころざし！」

東伊豆町議会議員

＜文教厚生常任委員会＞

す　さ
須佐まもる



イソブキ便り！ No.31 令和6年4月1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本 1496-18

Tel&Fax 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail:mamo@knossos.jp

バックナンバーはホームページで！ http://www.knossos.jp/giin_mamoru/face1.htm

出身地の東村山
市民センターにつるし飾りのポスターを貼って
もらいました。



最新の情報は
こちらから



真の議会改革とは

あると考えます。（10/16）

ザ、視察研修報告！

議会改革特別委員会が開催されました。今期、これまで3回ほど開催されていますが意見が膠着しているところもあり、早稲田大学マニフェスト研究所の中村健先生をお迎えして意見交換をさせていたしました。中村先生には4年前にも、当時議会改革を始めたところでしたが講義をいただきました。中村先生には4年ほど前に、当時議会改革を始めたところでは講義をしました。私が質問したのは「子供議会」の重要性です。将来この町をよろづて立つ十代の若者の声を聞くことは、議会として真っ先にしなくてはならないことだと思います。しかし、これまでのところあまり重要視されていません。「果たして議会がやることなのか」「町長サイドがやることではないのか」「教育長が難しいと言つた」など消極的な意見が大勢を占めます。



図書館を改装した議場。東伊豆町でも庁舎移転の話がよく取りざたされますが、学校に設置するにはいろいろと困難なところもあるようです。

3回ほど開催されていますが意見が膠着しているところもあり、早稲田大学マニフェスト研究所の中村健先生をお迎えして意見交換をさせていたました。中村先生には4年ほど前に、当時議会改革を始めたところでは講義をしました。中村先生には4年ほど前に、当時議会改革を始めたところでは講義をしました。私が質問したのは「子供議会」の重要性です。将来この町をよろづて立つ十代の若者の声を聞くことは、議会として真っ先にしなくてはならないことだと思います。しかし、これまでのところあまり重要視されていません。「果たして議会がやることなのか」「町長サイドがやることではないのか」「教育長が難しいと言つた」など消極的な意見が大勢を占めます。

文教厚生常任委員会は、二泊三日の日程で和歌山県、三重県方面へ視察に向かいました。研修の内容は那智勝浦町へは水道事業、紀北町へはお出かけ支援事業です。三重県の紀北町では、お出かけ支援サービス「えがお」について説明を受けました。紀北町は十年前に地元の高校の校舎へ町の庁舎を移転したとのことで、図書室が議場になっていました。

北町では、相乗り運送の実証実験を平成30年に実施しました。東伊豆町が今年始めた

の意識向上に努めています。

中村さんは言います「絶対に議会がやるべきです」と。そこで、愛知県犬山市議会が導入した市民によるフリースペースが紹介されました。この町をどうするのか。まちづくりの発想力や問題意識をどう養っていくのか。このことこそ町の将来にとつて大切で

紀北町は人口1万4千人で、高齢化率46%。地元バス会社の路線バスが国道を走つていて、公共交通空白地が多く発生するという点は東伊豆町と似ています。その状況の中で紀北町ではタクシー事業者が撤退しています。そこで紀

の運行が始まりました。ドライバーのオンドマンド交通の重要性を再認識し、「えがお」の運行が始まりました。ドライバーと予約業務を担当するオペレーターが3名ずつ、いずれも女性が担つているとのことです。地元バス会社が管理業務にあたり、福祉タクシーも関わっているとのことです。 （10/23-25）

職員研修「ユニバーサルマナーセミナー」に参加

6月議会で障害者に視点を置いた質問をしたところですが、役場職員研修で「ユニバーサルマナーセミナー」を開催するとの連絡があつたので参加しました。

東伊豆町では、障害者差別解消法に基づき「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を定め、職員

北町では、相乗り運送の実証実験を平成30年に実施しました。東伊豆町が今年始めたということを考えると、より切実で市民に寄り添った姿勢があつたと言えると思います。その実験を経て「ドアツードアのオンドマンド交通」の重要性を再認識し、「えがお」の運行が始まりました。ドライバーの確保が大変なことでした。講師は薄葉ゆきえさんとおかけ支援サービス「えがお」について説明を受けました。紀北町は十年前に地元の高校の校舎へ町の庁舎を移転したとのことで、図書室が議場になっていました。

北町では、相乗り運送の実証実験を平成30年に実施しました。東伊豆町が今年始めたということを考えると、より切実で市民に寄り添った姿勢があつたと言えると思います。その実験を経て「ドアツードアのオンドマンド交通」の重要性を再認識し、「えがお」の運行が始まりました。ドライバーと予約業務を担当するオペレーターが3名ずつ、いずれも女性が担つているとのことです。地元バス会社が管理業務にあたり、福祉タクシーも関わっているとのことです。 （10/23-25）

講師は薄葉ゆきえさんとおかけ支援サービス「えがお」について説明を受けました。紀北町は十年前に地元の高校の校舎へ町の庁舎を移転したとのことで、図書室が議場になっていました。

北町では、相乗り運送の実証実験を平成30年に実施しました。東伊豆町が今年始めたということを考えると、より切実で市民に寄り添った姿勢があつたと言えると思います。その実験を経て「ドアツードアのオンドマンド交通」の重要性を再認識し、「えがお」の運行が始まりました。ドライバーと予約業務を担当するオペレーターが3名ずつ、いずれも女性が担つているとのことです。地元バス会社が管理業務にあたり、福祉タクシーも関わっているとのことです。 （10/23-25）

講師は薄葉ゆきえさんとおかけ支援サービス「えがお」について説明を受けました。紀北町は十年前に地元の高校の校舎へ町の庁舎を移転したとのことで、図書室が議場になっていました。

北町では、相乗り運送の実証実験を平成30年に実施しました。東伊豆町が今年始めた



ユニバーサルマナーとは何かというと、多様な人たちを見かけるようになった現代では、自分とは違う視点に立ち行動や言動することが定義されます。

北町では、相乗り運送の実証実験を平成30年に実施しました。東伊豆町が今年始めたということを考えると、より切実で市民に寄り添った姿勢があつたと言えると思います。その実験を経て「ドアツードアのオンドマンド交通」の重要性を再認識し、「えがお」の運行が始まりました。ドライバーと予約業務を担当するオペレーターが3名ずつ、いずれも女性が担つているとのことです。地元バス会社が管理業務にあたり、福祉タクシーも関わっているとのことです。 （10/23-25）

講師は薄葉ゆきえさんとおかけ支援サービス「えがお」について説明を受けました。紀北町は十年前に地元の高校の校舎へ町の庁舎を移転したとのことで、図書室が議場になっていました。

北町では、相乗り運送の実証実験を平成30年に実施しました。東伊豆町が今年始めた

稻取駅の立ち寄り
スペースオープン

電車の待ち時間は手持無沙汰ですが、稻取駅に「ベルが鸣つても居たくなる？」スペースがオープンしました。



16日は完成を記念して内覧会があり私も見学に訪れました。

これは、12月の定例会で協議したワーケーション環境の整備推進のための施設です。観光客や地元の人も立ち寄れるスペースで、コンビニのイトイントインコーナーのようなスペースとみやげ物などが販売される商品スペース、待合スペースも設けられました。元々ワーケーション環境の補助金でつくられた施設ですから、ワーキングスペースも当然設置されるということになります。

稻取駅は伊豆急行線の中でも特急が停る主要駅として在り、このところ乗降客も多いです。しかし、構内は老朽化しています。そのような中、自治体と企業が共同で行うまちづくりはこれからも期待されます。

(2/16)

誠実・実行・ココロザシ！

須佐まもるの活動！

日付	政務内容	場所
10/3(火)	文教厚生常任委員会	役場
13(金)	賀茂郡市町議会議員研修会	松崎町
16(火)	議会改革特別委員会	役場
23~25	常任委員会視察研修	和歌山・三重県
26(木)	ユニバーサルマナーセミナー	役場
11/7(火)	全員協議会	役場
9(木)	文教厚生常任委員会	役場
11(日)	税を知る週間広報活動	朝市会場
18(土)	青少年の主張発表大会	役場
20(月)	議案等説明会、全協	役場
27(月)	謝月祭(ムーンロードテラス) 観察	北川
12/3(日)	防災訓練	公民館
6~7	12月定例会	役場
8(金)	連合定期大会	役場
10(日)	寄って軽トラ市 観察	河津町

☆今後の予定☆

5月…岡谷市との議員交流会、能登半島へ災害ボランティア参加

ザ！ココロザシ コト！	
 <p>「黄色いハンカチ作戦」がテーマだった北川の津波避難訓練では、住民の皆さんのが積極的で、杖をつく高齢の方も参加していました。日頃からこのような訓練を重ねることはとても大切です。</p>	<p>東伊豆町の北川地区、大川地区は災害時に孤立すると報道され、県や町、消防などの調査も入りました。国道や町道が災害で封鎖されると逃げ場がなくなってしまう可能性が大きいあります。</p> <p>12月定例会で私はその点を質問すると、望洋公園が避難地として適しているかどうかを県や関係機関と調査したと答弁がありました。観光シーズンですと、宿泊客をどう避難させるかも考えに入れなければなりません。能登半島地震では、温泉ランキングで不動のトップにある旅館が宿泊客四百人を翌日バスで金沢まで送り届けたといいます。平時はともかく災害時の教育もしつかりなされている点はさすがです。</p> <p>能登半島地震に学ぶ</p>
	<p>皆さまからのご意見をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。後援会員募集中です！</p>